

歯科技工士の「働き方改革」

歯科技工士の「災害時の歯科医療支援」

徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門技工室

鴨居浩平

昨今多くの職種の働き方に注目が集まる中、我々歯科技工士も働き方を見直す時期となっている。2019年4月1日に働き方改革関連法案が本格施行され、歯科技工士業界にもある程度は時代に沿った働き方が確立されていなければ、今後も歯科技工士を目指す人は増えないし、既存の歯科技工士も働き方に関する法律を遵守しなければ罰せられる可能性がある社会となっている。

また近年医療分野に包括的医療チームが求められる中、歯科技工士も医療従事者として様々な医療への参画が期待されている。特に年々増加する自然災害に対して、災害時の歯科医療ニーズも今後さらに増えていくことが予想され、歯科医師や歯科衛生士らと共に歯科技工士も限られた環境下での患者の歯科医療ニーズに応じていく必要がある。

本講演では、「働き方」、「医療従事者」の二つの観点からこれから目指すべき歯科技工士の在り方を皆さんと考えていければと思う。

略歴

名前：鴨居浩平

2010年3月 広島大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 卒業

2010年4月 徳島大学病院診療支援部歯科医療技術部門技工室 入職

2013年4月 一般社団法人徳島県歯科技工士会 理事 就任

2016年6月 公益社団法人日本歯科技工士会 歯科技工士労務対策委員会委員 就任

2016年9月 一般社団法人日本歯科技工学会 専門歯科技工士 認定

2016年11月 日本災害派遣医療チーム業務調整員 認定

2017年9月 日本口腔顎顔面技工学会理事 就任

2022年6月 一般社団法人 日本歯科技工学会 代議員 就任

2022年9月 一般社団法人 日本歯科技工学会 専門歯科技工士制度運営委員会委員 就任